

## ラジオ番組制作の流れ

ラジオ番組制作は大きく4つの行程に分けることができます。

### ①企画・構成

企画書を作成し、番組制作に必要な準備を行います。

### ②収録

番組企画・構成をもとに収録します。

### ③編集

収録した素材、音楽などを用いて音声編集ソフトを用いて編集します。

### ④完パケ・納品・放送

ラジオ局の納品形態に合わせた形式で、完成した番組を納品します。

国立 FM 番組パーソナリティ養成ワークショップ【入門編】では、

- ・番組作りの大きな流れ
- ・企画書の作り方
- ・それぞれの行程に必要な機材・ソフトの紹介

などを学んでいきます。



## 番組の「企画意図」を明確化する。

「企画意図」とは、どうしてこの番組を作るのか？なぜあなたがやるのか？などを文章化したものです。自分がなんとなく感じていることを言語化出来ていると、番組作りがよりスムーズに進行します。

### ○企画意図 > 番組コンセプト

なぜこの番組を製作するのか？どのようなメッセージを伝えたいのか？などを考えます。番組コンセプトは、番組内容につまづいたとき立ち戻る重要な項目です。

① どういった経緯で番組を企画するに至ったのですか？

② この番組を通じて誰にどんなメッセージを伝えたいですか？

③ 番組を制作するのがあなた(パーソナリティ・製作者)でなければならない理由は何ですか？

④ この番組を聴くことでリスナーが得るものは何ですか？

⑤ その他

### ○対象となる聴取者

番組を誰に届けたいのか？を考えます。漠然としたターゲットよりもより具体的であればあるほど良いです。たとえば、「同じ職場の〇〇さん」など特定の人物ひとりに絞り込むと、番組がより明確になります。

名前は？ / 性別は？ / 年齢は？ / 住んでいるところは？ / 家族構成は？ / 職業は？  
/ 休日の過ごし方は？ / 普段不満に思っていることは？ / 普段興味を持っていることは？  
/ どんな性格ですか？ etc

## 企画内容を考える。

### 1. 企画意図を意識して、改めて番組の内容を短い言葉にまとめてみましょう。

具体的にどのような内容の番組なのかを書き込みます。たとえば小学校3年生の男の子に「どういう番組なの?」と聞かれても説明できるような文章だとよいかもしれません。

### 2. 実際に番組を放送するために第1回、第2回の内容を考えてみましょう。

第1回放送テーマ『』

【エピソード / 小テーマ】

- ・
- ・
- ・
- ・

第2回放送テーマ『』

【エピソード / 小テーマ】

- ・
- ・
- ・
- ・

### 3. コーナーの内容を企画しましょう。

コーナーは、頑張らなくても無尽蔵にネタが出てきやすいような内容を選びましょう。

①コーナータイトル「」

コーナーの内容:

②コーナータイトル「」

コーナーの内容: